

Kofu-Field News Letter

自動ライン引きロボットが活躍中！

利用者様の声をお届けします。

■ターフタンク導入の経緯は？
二〇二〇年開催予定だった第七十五回「燃ゆる感動」かごしま国体において、志布志市は成年男子サッカーの競技会場となっていました。
この大会に向け、平成二十九年頃から天然芝の改良を実施し、維持管理を行ってきました。
特にこの中で、芝の状態を良好に保つため、ライン引きについては、通常の石灰を使用するのではなく、ペイント液を使用していました。しかし、この作業は市職員がロープ張り等を含め、全て手作業で行っていたんです。



Turf-Tank-ONE
ターフタンクワン (自動ライン引きロボット)

■ターフタンクの利用状況は？
現在は、芝のコンディションを維持するため、利用制限をかけるから大会等を実施していますが、



天然芝のコートは四面あり、作業は一面あたり四人〜五人で、ライン引きに要する時間も約三時間程度かかるなど、大変な負担となっていました。
更に国体が二〇二三年に延期され、これまでの維持管理作業を継続する必要がある中で、このライン引き作業の効率化を模索していました。そんなタイミングで、自動ライン引きロボット「ターフタンクワン」をコウフ・フィールド株式会社営業担当者よりご紹介頂きました。
早速デモを行ってもらいましたが、そのライン引きの仕上がりの正確さと、作業時間の大幅短縮、何より省人化を図れることが確認できたので導入を決定しました。

導入した二〇二一年四月以降、これまで九回使用しています。(七月二十九日現在)

■自動ライン引きロボット「ターフタンクワン」の効果は？
作業にかかる人数が二人で済むようになりましたので省人化が図れました。また、作業時間も大幅に短縮されています。

これにより、昨々までの状況からすると、職員への負担が大幅に軽減されています。

しかも作業中は一人でも対応できるので、別の作業も並行して進めることができ、効率的な作業が行えています。

■自動ライン引きロボット導入を検討されている施設等へのアドバイスは？
作業を少人数で行えるため、同時進行で作業を分担し進めることができ、施設の維持管理を行う上では非常に効率が上がります。

また、ラインを引く職員の身体的な負担も大幅に軽減されます。

初期投資額は大きいと思いますが、人件費ベースで考えると、天然芝のグラウンドが数面あり、ラインを引く作業が多い施設については十分な費用対効果があると思います。

(インタビュアー協力)

鹿児島県志布志市

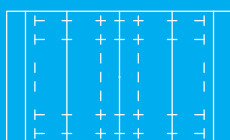
教育委員会 生涯学習課

生涯スポーツ係長兼国体推進係長

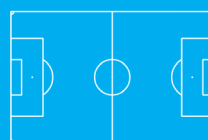
野口 裕司 様

45 種の競技に対応し
10,000 通り以上の組み合わせが可能

個々の寸法指示や、要求、要望などにも応えることができ、様々なスポーツフィールドに対応しています。



RUGBY



SOCCER

「自動ライン引き」を
動画でご覧いただけます。

